

学校だより 6月号

令和8年5月29日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

## 響き合う声援を、未来を支える「根っこ」にして

准校長 東森 清仁



まばゆい初夏の光が校庭に降り注ぐ季節となりました。先日の前期課程緑園スポーツフェスティバルに際し、温かいご声援と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、今月は後期課程の体育祭も控えております。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

今年度のスポーツフェスティバルも、子どもたちの躍動する姿があふれる素晴らしい行事となりました。それ以上に胸を熱くしたのが、本番に至るまでの舞台裏での奮闘です。お昼の時間に応援団の放送やスローガンなどのメッセージを動画で流して盛り上げたり、運動会係活動をコツコツと進めたりと、中心となって動いた6年生の姿は実に頼もしいものでした。もちろん6年生だけでなく、各学年・クラスでも応援や演技・競技の練習を重ね、頑張りを積み上げてきました。

また、今年も6年生の団体演技の振り付けには後期課程のダンス部が協力し、当日もベランダからたくさん生徒たちが温かい声援を送ってくれました。こうした支え合いが自然に生まれることも、義務教育学校である本校ならではの魅力です。

当日、開校5年目を迎える節目の年として、ベランダに新しい横断幕が掲げられました。マスコットキャラクターの「グリナビ」や校章、正門前の階段の虹がデザインされた中央には、本校の校訓である「真のグローバル人材に 自主・協働・創造」の文字が刻まれています。

「真のグローバル人材とは何か」「ともに力を合わせる（協働）とはどういうことか」「創造とは何を作り出していくことか」——。横断幕を見上げながら、そんな問いを児童生徒と教職員が一緒になって考えていくことこそが、緑園学園の学びの根幹です。

最近、街を歩いていると、住宅街の中に佇む神社の静けさ、紫陽花が映える並木道、まさに今、見頃を迎えている名瀬川の支流の蛍の淡い光など、地域の豊かな表情に出会うことができます。子どもたちがいつかこの地を巣立つとき、こうした美しい情景とともに、スポーツフェスティバルで仲間と汗を流した記憶を、かけがえのない自らの「根っこ」として懐かしく思い出してほしいと願っています。

学校行事が、単なる一過性の思い出作りで終わるのではなく、児童生徒が持てる力を存分に伸ばし、一生の「心の故郷」を築く最高の学びの場となるように。これからも子どもたちと共に問い、歩みを進めてまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。